



2014年6月27日

ジェットスターグループ

ジェットスター・アジア航空、福岡＝バンコク＝シンガポール線 本日より就航

ジェットスターグループのシンガポールを拠点とするジェットスター・アジア航空は、本日福岡＝バンコク＝シンガポール線を就航しました。同路線は、ジェットスター・アジア航空として初の福岡線となるほか、初めてシンガポール、タイ、日本の3ヶ国間を結ぶ路線で、エアバス A320 型機にて週7便(往復)運航致します。

ジェットスター・アジア航空による日本路線の就航は、関西＝台北＝シンガポール(2010年7月就航)、関西＝マニラ＝シンガポール(2012年3月就航)に続く3本目となります。

本路線における提供座席クラスは全てエコノミークラスで、福岡＝バンコク間は13,000円(片道)*から、またバンコク経由の福岡＝シンガポール間は16,000円(片道)*から販売しています。

ジェットスターグループ日本支社長の片岡優(かたおか まさる)は次のようにコメントしています。「東南アジア諸国に対する訪日ビザ免除・緩和の実施に伴い、同地域からの観光客が昨年来増加傾向にあります。この度の就航で、東南アジアの旅行客にLCCならではの低運賃による新たな選択肢を提供し、福岡や九州地区はもとより、ジェットスターの国内路線網をもご利用いただき日本各地でのご旅行を楽しんで頂きたいと思っております。また、福岡や九州地区の自治体や旅行・観光業界とも連携して地域の観光業を活性化すると同時に、タイやシンガポールなど人気が高い観光地への旅行需要の増加も図って参ります。」

*エコノミークラス「Starter」の片道運賃。支払手数料、燃油特別付加運賃(通称「燃油サーチャージ」)、諸税が別途必要です。受託手荷物は含まれません。諸条件が適用されます。

この度、福岡＝バンコク＝シンガポール線の就航を記念して、本日正午より特別セールを開始します。是非、ご利用下さい。

■福岡＝バンコク＝シンガポール線 就航記念セール

【セール対象路線】福岡＝バンコク 片道 7,990円**、福岡＝シンガポール(バンコク経由) 片道 9,990円**、他ジェットスター国際線

【販売期間】2014年6月27日 12:00～7月3日 10:00

※完売次第終了となります。販売期間は延長される場合があります。

【搭乗期間】2014年7月20日～2015年3月12日

※2014年12月18日～2015年1月13日を除きます。

※路線により異なります。セール運賃が適用されない日・フライトがございます。

*エコノミークラス「Starter」の片道運賃。支払手数料、燃油特別付加運賃（通称「燃油サーチャージ」）、諸税が別途必要です。受託手荷物は含まれません。諸条件が適用されます。なお、2014年6月現在の燃油特別付加運賃は、福岡＝バンコク間で7,000円、福岡＝シンガポール間で1万円となります。

◆運航スケジュール

■シンガポール・バンコク発

路線	便名	運航日	機材クラス	スケジュール
シンガポール＝バンコク	3K509	毎日	A320 エコノミークラス	22:50-00:20(+1)
バンコク＝福岡	3K509	毎日	A320 エコノミークラス	02:15-09:25

■福岡・バンコク発

路線	便名	運航日	機材	スケジュール
福岡＝バンコク	3K510	水木金	A320 エコノミークラス	10:30-14:10
		月火土日		10:30-14:15
バンコク＝シンガポール	3K510	水木金		15:10-18:40
		月火土日		15:15-18:40

◆運賃

路線	クラス	運賃名称	片道
福岡＝バンコク	エコノミー	Starter	13,000円～(燃油・諸税別)
福岡＝シンガポール (バンコク経由)			16,000円～(燃油・諸税別)

※なお、2014年6月現在の燃油特別付加運賃においては、福岡＝バンコク間で7,000円、福岡＝シンガポール間で1万円となります。

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、中部国際空港記者会、関西国際空港記者会、高松県政記者会、番町記者クラブ、大分県政記者クラブ、鹿児島県政記者クラブに配布しています。

ジェットスターグループについて

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最も急成長している航空会社の一つで、低運賃で旅行を楽しめる最大級の路線網を展開しています。ジェットスターグループは、オーストラリアおよびニュージーランド(カンタスグループの子会社)のジェットスター航空、シンガポールのジェットスター・アジア航空、ベトナムのジェットスター・パシフィック航空、日本のジェットスター・ジャパン、そして香港のジェットスター香港(関係当局の承認を前提とする)から構成されています。ジェットスターグループ全体で、アジア太平洋地域の60都市以上に週4,000便以上を運航しています。2013年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,300万人以上のお客様にご利用頂きました。

ジェットスター・アジア航空について

2004年12月に設立。2005年に、シンガポールのバリューエアがジェットスター・アジア航空の姉妹航空会社となり、インドネシア国内での運航を担当。現在ジェットスター・アジアおよびバリューエアは、アジア太平洋地域の13カ国21都市において週600便以上運航しています。

ジェットスター・ジャパン株式会社について

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航したLCC(ローコストキャリア)です。2013年からは名古屋(3月)、大分(3月)、鹿児島(5月)、松山(6月)、高松(12月)にも就航しており、国内14路線を運航しています。現在、18機のエアバス社A320型機(180席/機)を保有しており、今後24機まで増強する予定です。ジェットスター・ジャパンには、豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。